

石黒 吉次郎教授 履歴・業績

石黒 吉次郎 教授 履歴・業績

履 歴

[学歴]

- 昭和45年 5月 東京大学文学部国語国文学科 卒業
昭和45年 6月 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専修課程 入学
昭和48年 3月 同 博士課程中途退学

[職歴 (専任)]

- 昭和48年 4月 東京大学文学部国文学研究室助手
昭和50年 4月 専修大学文学部国文学科 専任講師
昭和54年 4月 同 助教授
昭和60年 4月 同 教授
平成29年 3月 専修大学 退職

[職歴 (非常勤講師)]

- 昭和50年 4月 東京大学医学部付属看護学校 (～昭和51年 3月)
昭和61年 4月 大妻女子大学文学部・短期大学 (～昭和62年 3月)
昭和63年 4月 白百合女子大学文学部 (～平成29年 3月)
平成 3年 4月 昭和女子大学文学部 (～平成 8年 3月)
平成11年 4月 相模女子大学学芸学部 (～平成26年 3月)
平成25年 4月 大東文化大学大学院

[所属学会]

- 中世文学会・全国大学国語国文学会・説話文学会・仏教文学会・日本文学協会・
日本文学風土学会・能楽学会・芸能史研究会

業 績

〔単著〕

- 『中世演劇の諸相』桜楓社，昭和58年3月
『中世芸道論の思想—兼好・世阿弥・心敬—』国書刊行会，平成5年9月
『鉢かづき・酒吞童子（親子で親しむ歴史と古典）』勉誠社，平成8年5月
『安西軍策—毛利元就合戦記』勉誠出版，平成11年5月
『世阿弥一人と文学—』勉誠出版，平成15年8月
『完訳源平盛衰記・八・卷四三～卷四八』勉誠出版，平成17年10月
『中世の演劇と文芸新典社』，平成19年4月
『御家騒動の物語—中世から近世へ—（新典社新書）』新典社，平成21年3月
『中世の芸能・文学試論新典社』，平成24年8月

〔共著〕

- 『お伽草子1 およのの尼・玉もの前』新典社，昭和52年3月
『風俗と文学』専修大学人文科学研究所，昭和61年3月
『徒然草発掘 太平記時代の一側面』叢文社，平成3年7月
『カラー版 平家・義経記・太平記』おうふう，平成7年6月
『謡曲選』翰林書房，平成9年6月
『大江山絵巻 甦る絵巻・絵本』勉誠出版，平成18年10月
『謡曲画誌—影印・翻刻・訳註—』勉誠出版，平成23年2月
カラー百科 見る・知る・読む 能五十番』勉誠出版，平成25年2月

〔監修〕

- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [一九七五—一九八四]』日外アソシエーツ，
平成7年3月
『日本文学研究文献要覧 古典文学 [一九八五—一九八九]』日外アソシエーツ，
平成8年5月

- 『古典文学 全集・翻刻書・研究書総目録』日外アソシエーツ，平成8年7月
- 『古典文学 書き出し結び総覧』日外アソシエーツ，平成10年7月
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [一九九〇—一九九四]』日外アソシエーツ，平成12年5月
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [一九九五—一九九九]』日外アソシエーツ，平成14年7月
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [二〇〇〇—二〇〇四]』日外アソシエーツ，平成18年7月
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [二〇〇五—二〇〇九]』日外アソシエーツ，平成23年8月
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学 [二〇一〇—二〇一四]』日外アソシエーツ，平成28年7月

【論文】

- 「謡曲と和泉式部」『国文学』学燈社，平成2年10月号
- 「琵琶湖と中世の文学」日本文学風土学会編『湖沼の文学』朝文社，平成4年12月
- 「祈雨と中世の芸能」久保田淳編『論集 中世の文学 散文編』明治書院，平成6年7月
- 「佐渡の風土と世阿弥—『金鳥書』の世界—」日本文学風土学会編『文学と風土』勉誠出版，平成10年6月
- 「能「盛久」と仏教」松本寧至編『中世文学の諸問題』新典社，平成12年5月
- 「金子みすゞ・飛翔する心」詩と詩論研究会編『金子みすゞ・詩と真実』勉誠出版，平成12年7月
- 「みすゞと仏教」詩と詩論研究会編『金子みすゞ 永遠の母性』勉誠出版，平成13年8月
- 「『簞篋内伝金烏玉兔集』と清明」『国文学解釈と鑑賞』至文堂，平成14年6月号
- 「司馬遼太郎・その周辺「愛国心」」『国文学解釈と鑑賞 別冊「司馬遼太郎の世界」』至文堂，平成14年7月

- 「東北地方の八幡信仰」神社と神道研究会編『八幡神社 歴史と伝説』勉誠出版、平成15年10月
- 「源氏と八幡信仰」神社と神道研究会編『八幡神社 歴史と伝説』勉誠出版、平成15年10月
- 「説話世界の八幡の神」神社と神道研究会編『八幡神社 歴史と伝説』勉誠出版、平成15年10月
- 「みすゞの悲しみと美意識—昔話とのかかわりから—」詩と詩論研究会編『金子みすゞ 美しさと哀しみの詩』勉誠出版、平成16年7月
- 「鬼伝説」『アジア遊学 七一号』勉誠出版、平成17年1月
- 「天才武将 源義経 立身・合戦篇」志村有弘編『謎と怪奇 源義経』勉誠出版、平成17年1月
- 「日本文学風土学の構築へ向けて」『日本文学風土学会紀事 三〇・三一合併号』平成19年6月
- 「『源氏物語』と中世芸能」『講座源氏物語研究第四巻鎌倉・室町時代の源氏物語』おうふう、平成19年6月
- 「謡曲の幽霊」『アジア遊学 一二五号』勉誠出版、平成21年8月
- 「福岡県の芸能人」志村有弘編『福岡県文学事典』勉誠出版、平成22年3月
- 「因幡の源左（足利喜三郎）」志村有弘編『心の妙好人』勉誠出版、平成23年7月
- 「『方丈記』が影響を受けた作品」歴史と文学の会編『新視点 徹底追跡 方丈記と鴨長明』勉誠出版、平成24年8月
- 「神田明神の信仰と祭礼—平将門伝説、神事能、奉納芸能など—」『専修国文 第九四号』平成26年1月
- 「東北をめぐる説話・物語・演劇—都から見た東北観—」『日本文学風土学会紀事 三八号』平成26年3月
- 「北東北と中世文学—中央との関係を中心に—」『文学・語学 第二一二号』平成27年4月
- 「心の澄む舞」『総合芸術としての能 第一六号』平成27年8月
- 「川と中世文学—世阿弥の能「桜川」の世界へ—」日本文学風土学会編『日本文学の空間と時間』勉誠出版、平成27年11月

「古文献にあらわれる羽前国・置賜郡—他国からのまなざし—」『専修人文論集 第九八号』平成28年3月

「中世文学における乞食の言説をめぐって」『専修国文 第九九号』平成28年9月

「中世思想としての「心澄む」」『専修国文 第一〇〇号』平成29年1月

「演劇・芸能における二人物の系譜」『専修人文論集 第一〇〇号』平成29年3月